

浅羽 恵

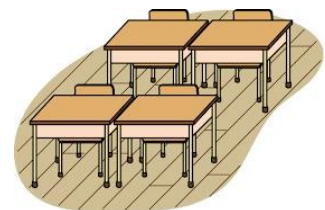
私がこの教室「川口自主夜間中学」の存在を知り、通い始めて早1年が過ぎようとしています。初めは自分の担当教科を教えることで社会に役立ちたいと意気込んでいました。しかしこの教室の状況から、ほとんどの時間は日本語習得を目指す外国の方を担当しています。自分の描いていたものとは違いましたが、この教室で現代の日本社会と繋がっている気がしています。ここに来て学んだことは少なくありません。その中の幾つか挙げてみます。

はじめに、「夜間中学」の存在と「形式卒業生」という言葉です。戦後わが国の義務教育制度を考えると、皆に「学ぶ」機会が等しくあるように漠然と思っていました。様々な理由で義務教育を受ける機会が十分ではなく、その後学びたい一心からこの教室に通う生徒の存在を知りました。

また「形式卒業生」に関しては、授業への出席の時間数に関係なく自動的に「卒業」を許可することで、反対に十分に学ぶ機会が得られないケースが義務教育において存在することも知らされました。一見問題がないように見える公の制度でも、完全ではないことを学びました。

最後に現在私が担当する日本語学習に関しては、かつて何度か海外で日本語を教える機会がありましたが、今回はまた何か違う新鮮さを感じています。かつては日本語を一方的に教える立場で生徒に接していたように思います。今回は国内で日本語を教えているわけですが、教えるという立場より共に学んでいる、という意識が強いです。それは生徒からの日本語に関する質問等を通じ、改めて自分の国の言葉を違った観点から考える機会になっているからです。また生徒との会話から日本以外の国の文化を学ぶ時間にもなっています。人と人が直接交わす会話を通し、様々な観点から自然に「共に学んでいる」いることを感じています。

ここ数年、この教室がメディアに取り上げられるためか、学習を希望する生徒、教えるボランティアの数が増えているそうです。私もそのうちの一人です。急増する参加者にこの教室の対応が十分ではないと感じています。そのような状況でも「開かれた学びの場」として、これまでのように様々な課題に対処しつつ活動を継続し、「共に学ぶ場」として社会に答えてゆくことでしょう。



# 7・8月予定

月	川口パートナーステーション(火曜日)					幸栄公民館(金曜日)				
7月	4日	11日	18日	25日	—	7日 <small>(コーヒータイム)</small>	14日	21日	28日	—
8月	1日 <small>(コーヒータイム)</small>	8日	<del>15日</del>	22日 <small>(交流会)</small>	29日	4日	<del>11日</del>	<del>18日</del>	25日	—

## スタッフ会議 (7月 25 28日)

スタッフ会議は8時より行います。学習は7時50分までになります。  
スタッフは必ず出席しましょう

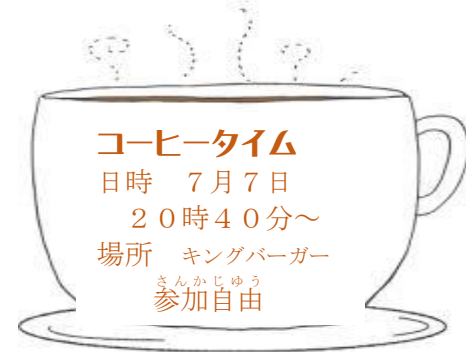
 休み

スタッフ会議主議題  
夏休み  
夏の交流会  
作る会との関係について

## 事務局コーナー

事務局会議 7月12日(水)(第2水曜日)  
かわぐち市民パートナーステーション(19時より)  
署名 7月9日 川口駅東口 1:30~

日本語UP講座 (8月19日) パートナーステーション



あき しゃかいけんがく おも  
秋に社会科見学をしたいと思っています。

にほん ぶんか ふ しゃかいか けんがく おも げんざい こうほ  
日本の文化に触れる社会科見学にしたいと思っています、現在の候補としてJRの

しゃりょうせいび ようす うえの かがく ほんぶつかん ださ みな  
車両 整備の様子 上野にある科学博物館などが出されていますが、皆さんがぜひ

ゆけ おも し  
行けたらと思うところがありましたら、お知らせください。

どようび にちようび じっし おも  
土曜日か日曜日に実施したいと思います。